☆★☆青年新規就農者ネットワーク☆★☆
「一農ネット便り」令和８年10月16日発行<240号>
発行者：農林水産省経営局就農・女性課

1　「農ある暮らしイノベーション・フォーラム」開催のご案内
2　50歳未満の就農希望者を新たに雇用する皆様を応援します！雇用就農資金募集中
3　自治体と企業の連携事例から学ぶ！オンライン情報交換会開催
4　～コンバイン事故に注意！大雨・水没機械への対応も～
5　編集後記

――

1 「農ある暮らしイノベーション・フォーラム」開催のご案内

――

東京大学大学院農学生命科学研究科と全国農業協同組合連合会は、農業の労働力不足をはじめとする課題を踏まえ、農業を生産現場だけのものではなく、食・健康・ウェルビーイングなど、生活者の暮らしと幅広く関わるものとして捉え直すことを目的に、「農ある暮らしイノベーション・フォーラム」を開催します。

農業を社会課題として語るだけではなく、若い世代やこれまで農業との接点が少なかった方々にも、「農業に関わることは楽しい」「食や農を知ることは自分自身の暮らしを豊かにする」と感じていただける機会になりますので、ぜひお気軽にご参加ください。

▼開催情報
◇日時：令和８年10月26日（月）12:45～15:30（開場12:15）
◇場所：東京大学 弥生キャンパス（東京都文京区弥生１－１－１）
◇参加方法：事前申込制（先着順、入場無料）
【第１部】基調講演トーク＆取組説明（12:45～13:50）
【第２部】パネルディスカッション　（14:00～15:30）

詳しくは、「農活つながるLabo. 東京大学」のページをご覧ください。
https://agri-together.ga.a.u-tokyo.ac.jp/

▼事前申込URL
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-d4zQJBjDiNaVvnwWWh7OutuMjULsrgYCJnhXDUmxmFIYSQ/viewform

◇お問い合わせ先
農林水産省経営局就農・女性課促進グループ
TEL：03-3502-6469（直通）

――

2 50歳未満の就農希望者を新たに雇用する皆様を応援します！雇用就農資金募集中

――

令和８年 10 月 22 日（木）から令和８年 11 月 25 日（水）まで、雇用就農資金の令和８年度第３回募集を行います。就農希望者を雇用して研修を行う皆様からの申請をお待ちしています。

▼今回募集を行う事業
50 歳未満の就農希望者を雇用し、必要な技術・経営ノウハウを習得させるための研修を実施する場合に資金を交付します。（年間最大 60 万円、最長４年間等）

▼募集要領・申請書類等の詳細はこちら
（全国農業会議所「農業をはじめる.JP」）
https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/original/

▼随時募集している事業
農業法人等が既に雇用している職員を次世代の経営者として育成していくため、先進的な農業法人や異業種の法人に派遣して実施する実践研修を支援する「次世代経営者育成タイプ」については、令和９年１月 29 日（金）まで随時、募集しています。

▼募集要領・申請書類等の詳細はこちら
（全国農業会議所「農業をはじめる.JP」）
https://www.be-farmer.jp/farmer/employment_fund/next/

◇お問い合わせ先
農林水産省経営局就農・女性課雇用グループ
TEL：03-6744-2160（直通）

――

3 自治体と企業の連携事例から学ぶ！オンライン情報交換会開催

――

令和８年 10 月 27 日（火曜日）14:00～
企業の農業参入に向けた、オンライン情報交換会を開催します！

「新しい産地に進出したい」
「複数地域で経営展開してみたい」
今回のオンライン情報交換会のテーマは、「自治体と進める農業参入」。
ファシリテーターには、全国各地で事業を展開する株式会社浅井農園 浅井雄一郎氏をお迎えします。

また、自治体と連携して農業参入を実現した株式会社オプティム・ファームと、企業の農業参入を支援する群馬県高崎市から、実際の取組をご紹介いただきます。

経営発展や新たな地域での展開に関心のある農業者の皆さまはもちろん、企業誘致を検討している自治体の皆さまにも参考となる内容です。
ぜひ、ご参加ください。

■第２回オンライン情報交換会
日時：令和８年 10 月 27 日（火曜日）14:00～15:30
テーマ：「自治体と進める農業参入」
出演者：株式会社浅井農園 代表取締役 CEO 博士（学術）浅井雄一郎氏
株式会社オプティム・ファーム 代表取締役社長 休坂健志氏
群馬県高崎市農政部農政課　課長　吉岡雄一郎氏

▼申込はこちら（参加無料）
https://survey.mynavi.jp/cre/?enq=subhoPurMy8%3d

▼ 詳細はこちら（農林水産省 Web）
https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/sannyufair.html

◇お問い合わせ先
農林水産省経営局経営政策課
TEL：03-6744-2143（直通）

――

4 ～コンバイン事故に注意！大雨・水没機械への対応も～

――

例年、稲の収穫期はコンバイン事故が多発しております。手こぎ作業では手袋やタオルを外して袖口を締め、点検時はエンジンを停止しましょう。転落・転倒事故には危険箇所の事前確認や目印の設置、畦の草刈りやバックモニターの装備が有効です。

また、全国で大雨や長雨が見られます。雨により作業が遅れる場合でも、焦らず安全第一で行ってください。農業機械が水没した場合はエンジンをかけず速やかに乾燥させ、整備業者等へ相談をしましょう。バッテリーや配線への浸水は漏電や火災の恐れがあり注意が必要です。

農林水産省では、都道府県や農機具販売業者等から収集した農作業死傷事故の情報（速報値）を毎月集計し、公表しています。こちらもあわせてご覧ください。

▼詳細はこちら
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/jikojoho.html

◇お問い合わせ先
農林水産省農産局技術普及課生産資材対策室
TEL：03-6744-2107（直通）

――

5 編集後記

――

国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の開幕まで、約半年となりました！
テレビや広告でも多く見かけるようになっていると思います。

「幸せを創る明日の風景」をメインテーマに、花や緑に囲まれながら、未来の暮らしや環境について楽しく考えることができる国際的なイベントが、2027年3月19日（金）から横浜市で開催されます！
会場では、世界中の花や緑の魅力に触れられるほか、環境問題への対応や持続可能な社会の実現など、未来の暮らしにつながるさまざまな展示や取組が紹介される予定です。

博覧会のキャッチフレーズは「地球と。咲きに行こう。」
花や緑がもたらす豊かさや可能性に触れながら、未来へのヒントを見つけてみませんか。

▼2027年国際園芸博覧会 公式ウェブサイト
https://expo2027yokohama.or.jp/
▼入場チケットの詳細はこちら（GREEN×EEPO 2027オフィシャルチケットサイト）
https://x.gd/x9ydH

◆経営局 Facebook「農水省・農業経営者 net」では、農業者の皆様に役立つ情報を発信しています。「いいね！」をし、フォローをお願いいたします。
https://www.facebook.com/nogyokeiei
◆就農情報ポータルサイト「農業をはじめる.JP」（全国農業会議所）では、農業に興味のある方や就農したい方に役立つ情報を発信しています。
https://www.be-farmer.jp/
◆メールアドレス等登録情報の変更・削除（農林水産省HP）
https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html
◆農林水産省経営局就農・女性課(TEL:03-3502-6469 (内線 5195)) が配信しております。 ご意見・ご感想については、以下メールアドレスまで。
【青年新規就農者ネットワークチーム】1nou@maff.go.jp